

唐津青翔高等学校 第2回学校運営協議会

令和5年9月28日(木)13:30～産社室

○開会

○会長および校長挨拶

会長:国スポリハ大会のお礼。

校長:昨年の熟議を踏まえテーマ設定をした。今年は地域の課題やニーズ、やりたいことなど具体的な提案をしていただき、地域との協働を実践していきたい。

○熟議

・テーマ「学校と地域の連携」

【方法】3グループに分かれ、ブレインストーミング、KJ法で話し合う。その後、グループで出た意見を全体で共有する。

Aグループ

意見を、「課題」「ニーズ」「アイデア」の内容でグループ分けをし、そこからつながりを考えていった。学校と地域の連携になる活動としては、「地域の産業や特産物を、高校生がインスタなどのSNSを通してPRを行う」ことが効果的である。玄海町にある産業や特産品を生徒が取材し、高校生目線でのPRを行えば、多くの方の目に留まる機会が増えるのではないかと。

Bグループ

「玄海町の人、環境、産業など魅力を知ってほしい」という地域の希望を実現するために今以上の交流が必要。文化祭・体育祭への参加、餅つき、お花見、お茶会などの保育園児から高校生まで一緒に行えるイベントの実施、スポーツで交流など。「困りごとの解決ボランティア」「町内見守りパトロール」などのアイデアもでた。高校生からは、自分たちが学ぶ「福祉の知識」をいかして、特産品である「いちごさん」のいちご狩りをして交流を深めたいという希望がでた。

Cグループ

「交流」をキーワードに、①学校の課題を地域が解決、②生徒が地域資源を活用／保全、③生徒が地域のPRに貢献、④協力したイベントを開催、⑤生徒が地域の課題を解決の5つにグループ分けをした。地域の意見としては、少子高齢化の進む地域の課題解決に貢献して欲しいという思いが強く、生徒を人材として考えるような観点や、PRに大きな役割を果たせるという観点からの意見が多く出た。生徒からは、運動会や競技会での地域の人々と交流、学校の課題解決への協力という意見が中心であった。

○報告

・全国募集について(校長)

6月からの地域みらい留学オンライン合同説明会と9月東京対面説明会の参加状況は、目標に近いアクセスがあったし、手ごたえもあった。県外の体験入学参加者も3組。下宿確保については、引き続き声掛けをし、協力を願いたい。

・コンソーシアム(学校・地域協働体制)構築について(校長)

企画商工課、みんなの地域商社、本校、地域・教育魅力化PH合同の協議の場である。

高校と地域の垣根をなくし、相互の交流を深めていくために高校を会場としたイベントを企画中。

○その他 第3回は2月頃を予定。

○閉会 この会の模様は、青翔NEWS・YouTube・インスタグラムで発信。